

福島第一原子力発電所現地確認報告書

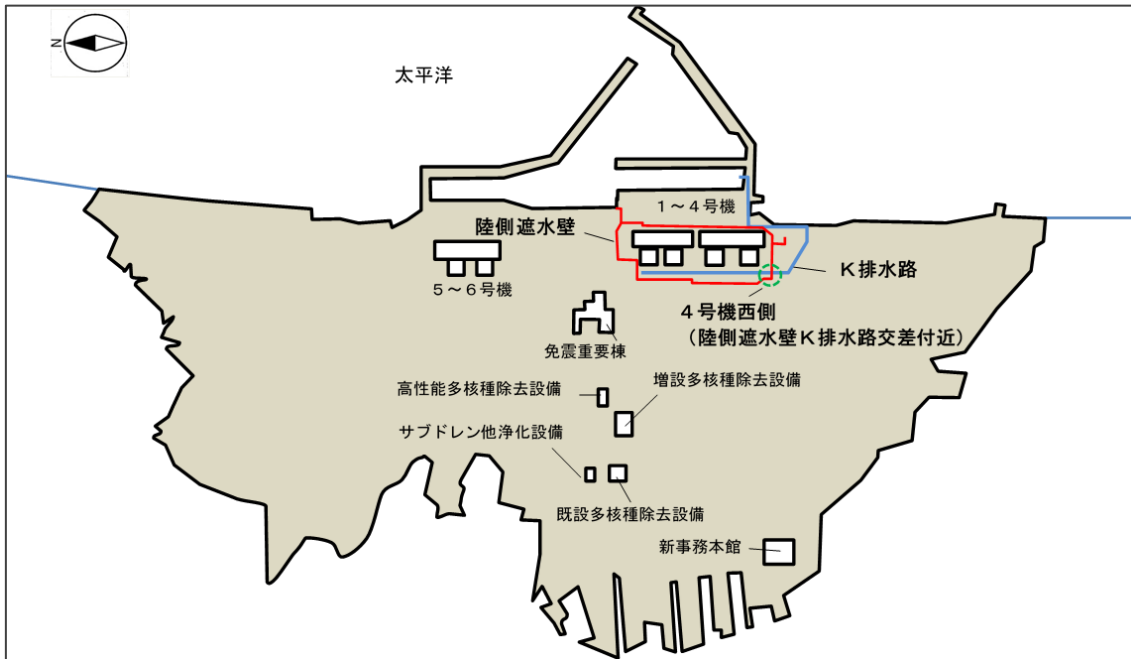
- 1 確認日
令和3年11月16日（火）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

4 確認結果の概要

汚染水の発生抑制が求められるなか原子炉建屋等へ流れ込む地下水量を抑えるため1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）について、一部の地中温度が今年8月下旬から上昇し、10月13日時点で0℃を超えている状態が継続している事象が確認された。その後、K排水路を調査したところ、底部から地下水の流入が確認されたことから、遮水壁内側（東側）のK排水路交差付近で掘削調査が行われていた。東京電力は深度-2.7m付近より深部では地中温度が0℃以下であること、および、遮水壁内側の掘削範囲に地下水がないこと等から遮水壁は正常に機能していると評価した。

前回確認時（11月15日）、遮水壁内側に引き続き、遮水壁外側（西側）の地盤・地下水の状況を確認するため、地盤掘削準備等が行われていたことから状況を確認した。（図1）

- ・掘削予定箇所では深さ約1m以上の穴が2箇所掘られており、雨水流入対策として地表面に土のうが敷き詰められていた。（写真1）
- ・掘削箇所の土壌は若干湿っていたが、地下水の湧出等は見られなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、地表面から深さ1m以上掘り下げた後に、さらに約1m以上の穴を鉛直に掘り、深部の地中温度を測定するとともに、地盤の状態を確認するとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
遮水壁外側(西側)の掘削箇所の
状況(令和3年11月15日撮影)



(写真1-2)
同左(令和3年11月16日撮影)



(写真2-1)
掘削箇所①(南側)の状況



(写真 2 - 2)
掘削箇所②（北側）の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。